

# 垂直式



認定型式番号  
ふV-001-1号

## 齋田産業株式会社

本社 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-6 大宮第2ビル  
TEL.(03)3291-4141(代) FAX.3292-8588  
WEB:www.saitasangyo.co.jp

北海道営業所 〒063-0061 札幌市西区西町北9丁目1番6号 高伸ハイム1F  
TEL.(011)624-6041(代) FAX.624-5341

生産工場

小樽工場 〒047-0015 小樽市住吉町6-1  
TEL.(0134)32-1414(代) FAX.32-1412

組立工場

江戸川工場 〒134-0082 東京都江戸川区宇喜田町1238番地  
TEL.(03)5658-7273(代) FAX.5658-7276

# ハッチ用

# 救 助 袋

## 取扱説明書

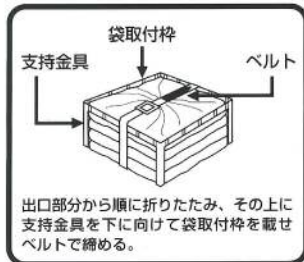
- このたびは、当社の製品をご採用いただきありがとうございました。
- お使いになる前に本取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになった後は、所定の場所に保管してください。
- ご担当者の方などが変わる場合は、必ずお引き渡しください。

齋田産業株式会社

## 引き上げ・格納の手順



- ① 救助袋の枠を取外し、袋本体すべて引っ張り上げます。
- ② すべて引き上げたら、袋の枠を上下逆さに置く。



- ① 出口側からつづら折りにたたむ。
- ② 最後に袋の枠を支持金具を下に向けて載せ、ベルトで締める。



- ① 袋本体を受金具(ハッチ枠)にはめ込み収納し、上蓋をゆっくり締める。

## 訓練などに使用する場合の注意

1. 避難訓練の時は、極力点検業者または、メーカーなど消防設備士、消防設備点検資格者などに立ち会ってもらうこと。
2. 降下訓練は必ず、上部1名以上、下部出口部1名以上の配置をすること。下部出口部の要員は袋全体がよじれてないか確認すること。
3. 降下訓練時は、必ず1人ずつ降下し脱出してから、次の人が降下すること。
4. 降下中にすり傷などを受ける恐れがあるので、長袖・長ズボン・軍手などを着用し、ハイヒールなどのかかとの尖った履物では、降下しないこと。
5. 学校の避難訓練などで、児童生徒を対象に行う場合は、安全の為に出口部の下部及び前面にマットなどの使用が望ましい。

## 使用方法の手順

1



- ① 取っ手を引き上げハッチを開けます。
- ② ロック(ヒンジ部)が固定されていることを確認してください。

2



- ① ベルトを引っ張ると救助袋が展張されます。
- ② 展張時、下階に人がいない事を確認します。  
いる場合には声をかけるなど、注意してください。

3



- ① 上蓋付属のつかまりベルトをにぎり、救助袋の腰掛布に座り降下姿勢をとります。

4



- ① 袋の中の左側にある滑降路軸ベルトを左脇にはさみ、左回りに降りる。  
ひざを心持ち上げ、背及び腰部で滑り降りる。

## 警告及び注意事項



- 袋の中に頭から入らないこと。
- 降下時に、腕や足などを突っ張ったりするとやけどなど怪我の恐れがあるのでしないこと。
- 袋本体を展張する時、障害物などにより正常に展張出来ない場合は、袋を一度引き上げて降ろし直すこと。
- 出口部分では、足が地面に着くまで立ち上がらないこと。